

習志野市
日本共産党
市議会議員
(44歳)

谷岡たかし

活動ニュース



電話:【自宅】047(453)7565 [FAX兼用] 【議員控室】047(453)9237 【党事務所】047(440)5240
E-mail:【自宅】t_tanioka@hotmail.com 【議員控室】narashino.jcp@seaple.ne.jp

JR津田沼駅南口「奏の杜」の区画整理 三菱地所・高層マンション建設のために 居宅取り壊しの強制執行

JR津田沼駅南口土地区画整理事業で、1月31日、マンション建設を開始する三菱地所に土地（保留地）を引き渡すために、住民が居住している家屋を取り壊す強制執行（直接施行）が行なわれました。区画整理事業で強制執行が行なわれたのは、習志野市で初めてです。

住民が居住している土地を先行売却したのが、誤りのはじまり

谷岡議員は、この問題を12月議会の一般質問でとりあげました（ニュース12月10日号）。

JR津田沼駅南口土地区画整理事業は、保留地（事業資金を得るために売却する土地）を先行売却して事業資金を確保し、資金計画を黒字にしたことで全国的に注目されています。

しかし、住民が居住している土地を先行売却したことが、強制執行につながるトラブルの原因となりました。区画整理組合は、①住民（地権者）の換地申出前に、居住中の土地を三菱地所に売却し、②換地先の造成が終わり、使用可能（使用収益開始）の通知を出す前に、居住中の土地を売却先に引き渡すスケジュールを立て

ました。これでは住民の権利が保障されません。

現位置での換地を希望するのか、離れた場所への換地でよいのか、しっかり合意形成する必要があったのに、業務代行（株式会社フジタ）が手抜きをしたため、問題が深刻化しました。

売却先への引き渡し期限が決められている以上、組合は何が何でも住民を追い出さなければなりません。そのため、土地区画整理事業法を使い、権力をかさにきた追い出しを行ないました。



ドアを壊そうとする職員

病人を寒風にさらし、取り囲んで退去をせまる—強制執行のやり方も強引



午前9時30分、組合理事長が施行開始を宣言。79歳女性が住んでいましたが、電気や電

話を遮断し、組合側の職員が電気ノコギリでドアを破って屋内に入り、家財を運び出しました。

病身の女性が寝ていた部屋の窓を壊し、組合の男性役員・職員らが取り囲んで退去を要求（左の写真）。住み続けられないよう内装を壊していました。地元教会の牧師らが抗議に駆けつけましたが、組合側は交渉を拒否しました。

女性は抗議を続けましたが、極寒の夜を過ごすこともできず、暗くなった午後5時頃に屋外に退去しました。病人を寒風にさらして追い出るのは、強制執行のなかでも極めて悪質です。

全国的にも異例！ 公共性のかけらもない強制執行

— 開発業者、マンション業者、許可した市長の責任は重大 —

憲法で保障された基本的人権は「公共の福祉」のために制限されることがあります。しかし、マンション用地引き渡しのための強制執行には、公共性のかけらもありません。

保留地先行売却という、住民の権利保障において問題のある新手法をとった上に、保留地をマンション業者に引き渡すために強制執行するという異例の強硬手段をとったことは、全国的に悪しき前例となるやり方です。

かつて全国の区画整理事業で住民の権利侵害が多発した時期、住民運動の力で、住民の権利を守るとりくみが進みました。今回の強権的なやり方は、これまでの血のにじむような改善の努力を踏みにじるものです。

仮換地指定や使用収益開始日通知を出す前に保留地を売却するなら、住民が居住している

土地は避けるべきです。売却してしまい、離れた場所への換地(飛換地)と移転を求めるなら、住民の納得を得られるまで粘り強く交渉するのが筋です。

悪しき前例をつくり、強制執行をした区画整理組合と株式会社フジタ、マンション用地引き渡しを要求した三菱地所、そして強制執行を許可した荒木市長の責任は重大です。

今回の事件は、一住民・一地権者だけの問題ではなく、利益追求(マンション開発優先)と住民の権利・人生のどちらが優先されるのかという点で、JR津田沼駅南口開発の今後、そして全国の区画整理の今後のあり方に大きな影響を与えるものです。

日本共産党は、引き続き問題点を追及し、今回の強権的なやり方の反省を求めていきます。



住民を追い出し、24階建て(72m)の高層マンション建設へ

強制執行された土地は、三菱地所に引き渡され、住棟4棟(724戸)、共用棟1棟、立体駐車場1棟の高層・巨大マンション群が建設されます。このマンションの設計は「株式会社フジタ」となっているので、区画整理とマンション建設・販売がセットになっているのは明白です。

短い工期で建設費用を圧縮し、販売価格を抑えて建設不況を乗り切るために、強制執行して27ヵ月で建設・販売というスケジュールを強行しなければならなかつたのでしょう。

今回の事件だけでなく、高層建築物による風害・電波障害等の災害問題、認可保育所や小学校のパンク、周辺人口に比べて狭隘な公園緑地・避難場所など、さらに住民犠牲が押しつけられようとしています。

日本共産党は、現在の住民にとっても、新しく入居する住民にとっても、住みやすいまちにするために、マンション開発優先によって引き起こされる問題の防止・解決に全力でとりくんでいきます。

～ 道路が危ないのは住民のせい？ ～

強制執行された家の前の道路を利用する人から「移転しないから道路が湾曲して危ない」との意見を聞きました。

しかし、道路はもともと家に引っかかっていました。移転交渉がまとまらないまま、拡幅工事を進め、湾曲した危ない道路を通らざるを得なくしたのは開発側です。

道路を危険な形にし、従来からの家を「迷惑施設」のよ

うにしたのは開発側であり、住民の責任ではありません。

移転補償は合意しており、移転時期だけが問題だったのに、「法外な補償金を要求している」かのごとき噂が出まわったりもしました。強制執行を正当化するために、住民側が「わがままな人」、長年の住まいが「迷惑施設」に演出されていくのは恐ろしいことです。

*見せしめの強制執行！作業員も驚く。相手は“女性2人”

*1月31日。JR津田沼駅南口谷津7丁目の元診療所の建物に、100人もの男たちが乗り込み、ドアを電動ノコギリで破壊。79歳のおばあさんの寝室の窓をはずし、寒風の吹き抜ける中、病弱なおばあさんの布団をはがし、おばあさんと娘を7時間にわたって責め立て、恐怖のどん底におとしいれる。

*（期限切れが理由の強制的措置は極めて異例・産経新聞2月1日）。

*この強引な強制執行に認可を出したのは、退職を目前にした荒木勇習志野市長です。実行者は、市長の後援会長です。JR津田沼駅南口の土地区画整理組合理事長でもあります。市長と後援会長のワンツーコンビでやりました。79歳のおばあさんと娘の2人は、6月転居予定でした。荒木勇習志野市長の退職日は、4月26日です。

*6月の土地の明け渡しでは、荒木勇市長は、現職市長ではありません。マンション業者への土地の引渡は、現職市長でなければ「価値」がありませんでした。

この土地周辺には、24階建て高層マンションが4棟も建つ計画があります。

*なぜこんなことが！250人の地権者に対する見せしめ効果も狙った強制執行でした。逆らえば、次は、お前の番だぞという狙いは、効果抜群でした。

*法律には、強制執行で、「おばあさんと娘」の住む家のドアを破壊してはいけないと書いてありません。すべて合法的な元弁護士の市長の頭脳プレー。73億9000万円の土地取引。退職を目前にした土地政治です。

*政治は、論理と愛情が必要です。愛情のない政治がどんなことになるかは、ご承知の通りです。詳細は、街頭演説で。

その他

*不思議>個別の農家の土地測量が行われていない。あまりの土地は、だれのものに。

*不思議>50センチ土地をけずられる（2重減歩）。なぜ、だれのために。

追加で自分の土地をとられるほんとうの理由はなし。

平川の略歴

昭和27年2月27日。習志野市谷津3丁目18番7号で生まれる。59歳。

昭和39年谷津小卒

昭和42年市川二中卒

昭和45年東邦大附属東邦高校卒

昭和52年明治学院大法学部卒

昭和52年ゲーテドイツ語学校留学

昭和54年習志野市会議員

平成元年・市民対象の米国人による英会話スクール経営

平成7年千葉県議会議員

平成14年習志野市会議員

平成23年習志野市会議員現職

*日常の政治姿勢：「市民の声」を市議会に。

*平川は、6人の元市議の市長候補者のうち、誰を支持するのか。

時機をみて街頭演説でお伝えさせて頂きます。

討議資料

2011年3月

号外

*恐れていた巨大地震が発生しました。習志野市でも海側と山側とでは、別世界になっています。山側の被害は、海側より、まだ軽く済んでいます。山側は、家屋被害の内、屋根瓦の被害が、雨が降り出すと心配です。海側の袖ヶ浦、香澄、秋津・谷津で水道・下水が使えない地区・場所があります。

水道・下水が使えない所では、お風呂、トイレが使えず、洗濯水など家庭排水も流せません。簡易トイレの衛生管理が必要となっています。復旧には、3ヶ月前後を要します。

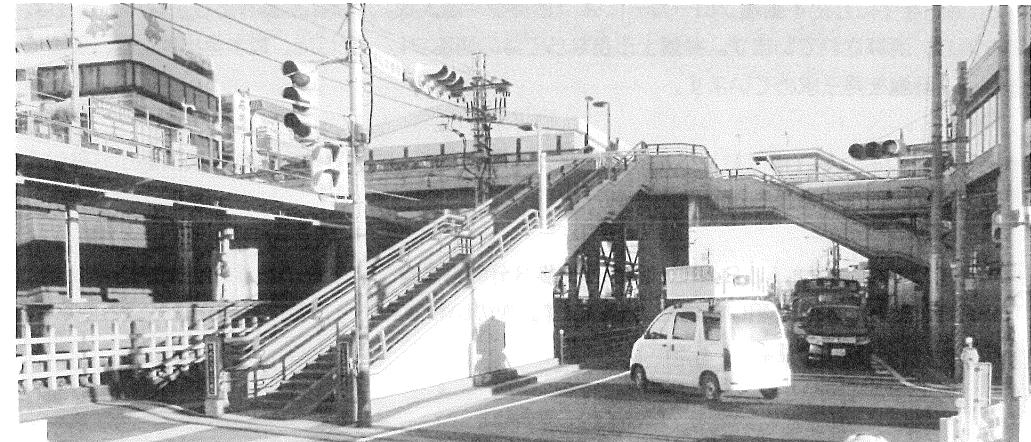
<緊急対策>

*電気・ガス・水道・下水、なにひとつ欠けても生活が困難となります。

また、いつ停電するのか。いつ断水になるのか。情報が不明確です。情報は、災害対策本部へお問い合わせ下さい。公務員が親切に対応しています。

習志野市役所災害対策本部>047-453-9211

*今後は、家屋の修繕助成金や敷地内の水道、下水の修繕費用の助成が必要です。



災害情報と多選市長交代を求める街頭活動

ようやく多選市長交代 次は正直な市長を！

*荒木勇習志野市長と市内の不動産ブローカーとの間で交わされたJR津田沼駅南口谷津7丁目の3000坪の土地の26億円にのぼる土地代金が、習志野市の財政運営をゆがめています。

荒木勇習志野市長は、4月26日をもって引退することになりましたが、引退ではなく辞職を再三求めています。谷津の土地問題は、実はまだ何も解決していません。引退する弁護士市長のタフな頭脳プレーは、依然として健在です。P2に掲載。

*1月31日（月曜）、荒木勇習志野市長の認可で、79歳のおばあさんと娘の住んでいる谷津7丁目の住宅に対して、強引な強制執行が行われました。過去最高額の73億9千万円にのぼる土地取引に係わる強制執行でした。荒木勇市長の任期は、4月26日までです。退職を目前にした、作業員も驚く、みせしめ効果を狙った残酷な強制執行でした。最終ページ掲載。

*次の習志野市長が、荒木勇市長の土地政治を引き継ぐいわゆる「子分」では、JR津田沼駅南口の谷津の土地の私物化と不正開票選挙は、まだまだ続きます。

市議会議員 元県議会議員 平川 博文

現住所 千葉県習志野市谷津3-18-7

電話 047-451-0104

*元弁護士の荒木勇習志野市長の土地の私物化とはなにか。

JR津田沼駅南口・谷津7丁目。テニスコートのあった3000坪の土地。この土地は、13年も前に荒木勇習志野市長が非常識な26億円で市内の不動産ブローカーから買い取らされています。それもバブル崩壊後です。個人的取引がありました。不動産登記もされていない異常な土地取引でした。

13年後の現在、元本の26億円と利息の5億2527万3476円が全額、借入先に返済できていません。民間でしたら、倒産です。

この土地代金は、今後、市民の皆さんのお給料から天引きされる個人市民税や、土地家屋にかかる固定資産税の中から、これから13年をかけて全額、穴埋めして行きます。もちろん、年金徴収分からも穴埋めします。

26億円を手にした不動産ブローカーには、「所得税や法人税」の支払形跡がありません。会社は、姿を消し、清算されています。弁護士市長ならではの頭脳プレーでした。荒木勇市長には、引退ではなく、辞職を再三求めています。

*荒木市長のような、市町村レベルでのデタラメ行政では、国策での増税も効果は上がらないと思います。他市の市長も同意見。

*まだこりすに今度は、JR津田沼駅から徒歩3分の習志野文化ホール後側の土地を相場以下の値段で、売却しようと狙いをさだめています。次のいわゆる子分市長に売却させるつもりです。こまつた元弁護士です。

*荒木市政の不正開票選挙とは、なにか。

かねてから、習志野市の市長・市議会議員選挙で「不適切な開票事務」があったと指摘されています。投票箱を開けて、票を数える段階で、問題があります。

民間人や、政党関係者ではなく、公の司法制度機関である千葉検察審査会が、習志野市の市長と市議会議員選挙で不適切な開票事務があったと指摘しています。

しかし、実行犯たちは、依然として、千葉県警察本部と千葉検察庁をナメきったまま現在に至っています。

なぜでしょうか。投票数を数える開票所での罰則規定はないからです。法律の抜け道を行く、またしても頭脳プレーです。今回の市長・市議会議員選挙も危険です。

2006年10月6日テレビ朝日は、スーパーモーニングという番組で、「習志野市の市長・市議会議員選挙の開票事務の問題」を報道しました。ここで、東京理科大学の犯罪検査の映像分析の専門家の半谷教授は、習志野市の市長・市議会議員選挙の投票用紙の数え方を映した映像を分析し、「市民に対する裏切り行為がある」と断定しました。

千葉検察審査会の「不適切な開票事務が行われている」という判断と一致します。

次の市長・市議会議員選挙・県議会議員選挙では、習志野市あげて、荒木市政の不正開票選挙を監視して頂ければ、ありがとうございます。

3月7日（月曜）の習志野市議会で、今度の市長・市議会選挙での選舉開票を正しく行うようにという陳情が市民から出されました。ダメを出したのは、宮本タイスケ市議（荒木後継市長候補）などです。



写真 投票日の当日、開票所で「えんぴつ・消しゴム」を使う。市職員による開票作業は、警察官の監視も無力。

*公営賭博場ポートピア習志野の縮小、撤退を要求。

*元弁護士の荒木勇市長は、「教育と福祉」の財源を口実にした、公営賭博場を今から4年前に新習志野駅前に持ち込みました。駅前の雰囲気は、悪化しています。

秋津・香澄住民を始め、千葉工業大学・本岡誠一学長など多くの市民の切実な反対の声を無視した公営賭博場です。当初売上は、1日6000万円という説明でした。現状は、話半分の3000万台になっています。

千葉工業大学の本岡誠一学長は、習志野市内の教育者としてただ一人、教育環境を悪化させる公営賭博場は、絶対に容認できないという声明を発し続けました。しかし、文教住宅都市の習志野市の当時の松森弘教育長は、終始見て見ぬふりを通しました。

ポートピア習志野は、結局、昨年の4月12日には、経営不振を理由に、習志野市への迷惑料支払いの減額を要求しています。

いったい、この公営賭博場は、だれのための公営賭博場だったのか。なんの役にたっているのでしょうか。

財政の情報が少ない市民をダマし、5期20年にわたる荒木勇市長の土地政治の黒いバトンが、今まさに、ポートピア習志野の大賛成者である宮本タイスケ市長候補に渡されます。

荒木市長の頭脳プレーと子分の連係プレーを習志野市民は、どう判断するのでしょうか。

若手現役右翼の構成員と市会議員の間で噂されている人が、習志野市長になつても、市民はまだ、黙つているのでしょうか。

ちば 首都圏

千葉総局
〒260-0013
千葉市中央区中央3-10-4
☎ 043-223-1911
fax 043-223-1931
mail chiba@asahi.com

京葉支局
〒273-0035
船橋市本中山2-1-18
☎ 047-335-2141
fax 047-335-2110

成田支局
☎ 0476-32-5840

柏支局
☎ 04-7167-8175
松戸 ☎ 047-369-2418
木更津 ☎ 0438-23-2424
館山 ☎ 0470-22-3155
茂原 ☎ 0475-22-2228
銚子 ☎ 0479-22-0241

きょうの天気

6~12時 降水確率 12~18%

0	千葉	0
0	我孫子	0
0	銚子	0
0	木更津	0
0	館山	0

千葉	●	●	木更津
西南西		西南西	
我孫子	●	●	館山
西南西		西	
銚子	●	●	
温度 40%			
西		波 2.0m	

気温 最高 最低

千葉 13度 2度

我孫子 12度 -2度

銚子 10度 1度

木更津 12度 1度

館山 13度 1度

あす

千葉	●	●	木更津
北東		北北東	
我孫子	●	●	館山
北東		北北東	
銚子	●	●	
湿度 50%			
北東		波 1.5m	

2月2日
(旧12月30日)

日出 6.39
日入 17.07
月出 5.50
月入 16.28

月齢28.7

ナマの迫力
ボートレー
劇場スター



2階居室の窓などを取り外す作業員たち=習志野市

JR津田沼駅南口の元農地が住むまちづくりを進めていた。計35戸を整備し、7千人。JR津田沼駅南口土地区画整理組合 1戸、溝埋まらず

整理組合が31日、土地区画整理法に基づき、計画地内の住宅1戸の取り壊しを始めた。住宅には、組合員である親子が暮らしている。組合側は一時居住用のマンションを用意したが、親子は「新居完成予定の6月ごろまで転居等待つてほしい」と訴え、溝は埋まらないまま。組合は1ヶ月ほどかけて建物を撤去し、更地にする方針だ。

同組合は2007年7月設立。地権者約250人が組合員で、総事業費150億円の事業だ。国、県、市が計82億円を補助する。24階建てマンション4棟が建つ予定で、親子の住宅は予定地内にある。母親は79歳で、交通事故の後遺症もあり病弱という。寒い冬季の転居や短期間に2回の引っ越しは身体的、精神的に難しいとして昨年夏、組合に今年7月まで転居を延期す

JR津田沼駅南口 土地区画整理組合 1戸、溝埋まらず

JR津田沼駅南口の元農地が住むまちづくりを進めていた。計35戸を整備し、7千人。JR津田沼駅南口土地区画整理組合 1戸、溝埋まらず

整理組合が31日、土地区画整理法に基づき、計画地内の住宅1戸の取り壊しを始めた。住宅には、組合員である親子が暮らしている。組合側は一時居住用のマンションを用意したが、親子は「新居完成予定の6月ごろまで転居等待つてほしい」と訴え、溝は埋まらないまま。組合は1ヶ月ほどかけて建物を撤去し、更地にする方針だ。

同組合は2007年7月設立。地権者約250人が組合員で、総事業費150億円の事業だ。国、県、市が計82億円を補助する。24階建てマンション4棟が建つ予定で、親子の住宅は予定地内にある。母親は79歳で、交通事故の後遺症もあり病弱という。寒い冬季の転居や短期間に2回の引っ越しは身体的、精神的に難しいとして昨年夏、組合に今年7月まで転居を延期す

るよう陳願書を出した。しかし、昨年11月になって、親子は、昨年末までに家を引き渡す旨の確認調書に印を押し。押印した理由について、娘は、「組合から年末までに家を撤去する通知を受けて混乱した」と説明。「八方ふさがりで押してしまった」と言う。

31日前9時半、組合が依頼した建設会社員ら100人が家や敷地内に入り、敷地内を含め住宅内への立ち入り禁止の張り紙を周囲に貼った。機器を運び出して収納庫に入れたり、窓ガラスをはず

したりした。母親はベッドで横になっていたおり、救急車が待機する中、2、3時間かけ退去を説得。2階ベランダから娘が助けを求める場面もあった。組合によると、親子は夕方までにマンションに入った。組合によると、親子には早

くから敷地内の移転候補地を紹介し、新居建築中の土地も自身で選んでもらつたとい

う。また、売買契約のマンシ

ョン予定地引き渡しが昨年3

月になつていることから、「これ以上の遅れは資金計画に影響する」と説明する。

千葉



習志野市のJR津田沼駅南口に計画する新市街地「奏の杜」開発をめぐり、事業を進める習志野市JR津田沼駅南口土地区画整理組合(三代川利男理事長)は31日、立ち退き期限の延長を求めていた女性(79)の住宅の取り壊しに着手した。女性は抵抗したが、同日夜、組合が用意したマンションに移った。期限切れが理由の強制的措置は極めて異例だが、組合は「何度も引き延ばされ、今後も約束が守られるとは思えない」と理由を説明した。

取り壊しは、土地区画整理法77条に基づき「直接施行」で行われた。三代川理事長が午前、施工開始を宣言。建物周辺に「立ち入り禁止」の看板を設置し、係員が家財道具の運び出しや窓枠の取り外しなどを行つた。3月初旬までに建物を壊して更地にするとしている。

女性は足腰が不自由だとし、同居する家族の女性が付き添つていた。女性らは組合側の退去要求に抗議したが、その後、市内のマンションに移つた。付き

「奏の杜」開発で土地区画整理組合側は建物の取り壊しに着手した――31日、習志野市

一方、付き添いの女性は「いきなり家に上がり込み、寝ていた(女性の)布団を取るなどされた

選択だ」と話している。



「奏の杜」計画は平成19年7月に組合が設立してスタート。女性宅はマンション用地として開発業者に約74億円で売却する。保留地約1・88㌶内にある。

同組合によると、女性は昨年11月、市が間にに入るなどして昨年末までの移転と自主的な建物解体に合意。移転補償費の一部を受け取つたが、移転先の建物建設が6月までかかるとして、移転に応じなかつたという。

同組合の高橋賢副理事長は「仮移転先を用意するなど手は尽くした。遅れば資金面にも影響する。(直接施行は)事業遂行のための苦渉の選択だ」と話している。

習志野 住宅取り壊しに着手

千葉総局

T260-0013
千葉市中央区中央
4-17-3
☎ 043-225-2171
FAX 043-226-1782
chiba@sankei.co.jp

広告 043-202-8600
購読申し込み
0120-81-2950
配達・集金
0120-34-4646
紙面・記事
03-3275-8864
Web
<http://sankei.jp.msn.com/region/région.htm>

あすのこよみ

(2日)
旧12月30日
《大安》



月齢	28.7
日出	6:37
日入	17:04
月出	5:47
月入	16:20
満潮	5:19
干潮	16:13
干潮	10:40
大潮	23:04
大潮	(千葉)

2人死亡 市原 住宅全焼

31日午前1時40分ごろ、

JR千葉駅東口の駅ビル「千葉ペリエ1」(千葉市中央区新千葉)が31日、閉店した=写真。

昭和38年4月の開業から千葉駅の歴史に幕を閉じた。平成27年度から28年度にかけて開業する予定。この日行われた閉店セレモニーでは、地元の幼稚園児らがアニメ映画の主題歌の合唱を披露し、愛らしい歌声でセレモニーを盛り上げ、「子供からお年寄りまで楽しめるペリエをつくってください。楽しみにしています」とメッセージを送った。

市原市戸、無職のユキさん(77歳)は、敷地内の小屋焼け跡から平屋住宅約1㍍の遺体が見つかっただけで、消防隊は火を消し止まつた。19番通報がなされた事件で、致死などの罪で橋邊也被告(32歳)。

リンゼイさん母も出廷 市橋被告公判前手続

市川市のマンションで平成19年、英国人英会話講師のリンゼイ・アン・ホーク

さん=当時(32歳)が殺害され、殺人罪で起訴された事件で、致死などの罪で橋邊也被告(32歳)。